

大腸癌手術症例に関する国際的なデータベースの構築についてのお知らせ

足利赤十字病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2000年1月1日～2030年12月31日

〔研究課題〕 大腸癌手術症例に関する国際的なデータベースの構築

〔研究目的〕 我が国の大腸癌死亡数は増加傾向にあります。手術、周術期管理の発展に伴い、国際的な治療技術の共有が求められています。各国の基幹病院の大腸癌治療症例の情報をを用いて検討を行います。本研究は、アメリカ、日本、ヨルダンにおける大腸癌手術のハイボリュームセンターにおいて大腸癌手術症例のデータベースを集積することで、各国基幹病院における大腸癌手術、治療成績の大規模データベースを構築、発信し、世界的な大腸癌治療の標準化に寄与することを目的としています。

〔対象・研究方法〕 2000年1月1日から2030年12月31日まで、結腸癌もしくは直腸癌に対して手術をした症例を対象とし、診療録を基に施設情報、患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、併存疾患、既往歴など）、腫瘍の占拠部位、肉眼型、術前診断、術前治療、採血結果、画像所見、手術、術後情報、転帰などに関する情報を匿名化し、各共同研究機関IDとパスワードによって管理する入力用ウェブサイトへ登録を行い、データの集計・解析を行います。

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報の保護のため、登録については無記名であり、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号等）は入力しません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究・情報管理責任者：外科 副部長 瀬尾 雄樹

住所：〒326-0843 足利市五十部町284番地1

TEL：0284-21-0121(代表)